

国立のぞみの園運営懇談会

1. 入所利用者の状況	1
2. のぞみの園における業務の取組状況	5
(1) 著しい行動障害を有する者等及び医療的ケアが必要になった者への支援について	
(2) ターミナルケアについて	
(3) 令和5年度 調査・研究の実績	
(4) 令和5年度 セミナー・研修会等の実績	
(5) 令和5年度 実務研修等の実績	
(6) 令和5年度 援助・助言の実績	
(7) 診療所の見直しについて	
(8) 第10次寮再編計画について	
(9) 能登半島地震における被災者の受け入れについて	
3. 令和6年度予算（案）について	17
4. 新型コロナウイルス感染症への対応（令和5年度下半期）	18
5. 事故等の報告について	19

令和6年3月

1. 入所利用者の状況

令和6年3月1日現在

○ 令和5年度の入所利用者の状況は、入所が16人、退所が28人であり、3月1日現在の在籍者は163人となっている。

○ 退所者28人のうち、施設等(22)の内訳は、グループホーム(16)、障害者支援施設(6)であり、死亡の原因は、心不全(2)、肺炎(2)、急性呼吸不全(1)となっている。

前年度末在籍者		入所	退 所					今年度3月初日在籍者
			家庭	施設等	死亡	その他 (契約解除)	計	
合計	175	16	1	22	5		28	163
内訳	旧コロニーからの利用者	148	0	10	5		15	133
	行動障害等	24	13	1	11		12	25
	矯正施設等退所者	3	3		1		1	5

入所利用者の概況

令和6年3月1日現在

- 入所者数：163人(男性97人、女性66人)
- 平均年齢：62.9歳(18歳～90歳)
- 平均入所期間：37.4年
- 障害支援区分(区分3～6)の平均：5.9
- 出身都道府県：31都道府県(117市町村)

入所者の内訳／年代

		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	計	平均年齢
①旧コロニ-からの入所利用者		0人	0人	3人	11人	31人	88人	133人	70.7歳
障害者総合支援法に基づく 有期認定入所利用者	②行動障害等	17人	7人	1人	0人	0人	0人	25人	28.4歳
	③矯正施設等 退所者	3人	1人	人	1人	0人	0人	5人	30.2歳
合計		20人	8人	4人	12人	31人	88人	163人	62.9歳
(割合)		(12.3%)	(4.9%)	(2.5%)	(7.4%)	(18.9%)	(54.0%)	(100%)	

入所期間

	10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	計	平均入所期間
①旧コロニー	2人(1.6%)	0人(0.0%)	11人(8.3%)	120人(90.1%)	133人(100%)	45.7年
②行動障害等	25人(100%)	—	—	—	25人(100%)	1.5年
③矯正施設等	5人(100%)	—	—	—	5人(100%)	3ヶ月
計	32人(19.6%)	0人(0.0%)	11人(6.7%)	120人(73.7%)	163人(100%)	37.4年

※ 旧コロニー10年未満の2人については、再入所によるもの。

障害支援区分

	入所者数	性別	障害支援区分(単位:人)					平均障害 支援区分
			区分2以下	区分3	区分4	区分5	区分6	
①旧コロニー	133	男 76				2	74	6.0
		女 57					57	
②行動障害等	25	男 17				1	16	6.0
		女 8					8	
③矯正施設等退所者	5	男 4		1	2	1		4.0
		女 1			1			
計	163	男 97		1	2	4	90	5.9
		女 66			1		65	

(参考)

のぞみの園で提供するサービス

○ 障害者総合支援法に基づくサービス

令和6年3月1日現在

	サービス名	現員	サービス内容
居住支援	施設入所支援	163名	夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行っています。
	共同生活援助 (グループホーム)	34名	夜間や休日、共同生活を行う住居で、入浴、排せつ、食事の介護等を行っています (日中サービス支援型共同生活援助含む)。
日中活動	生活介護	213名	日中において、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供しています。
	自立訓練 (生活訓練)	4名	食事や家事等日常生活能力を向上するための支援を行うとともに、日常生活上の相談支援を行っています。
	就労継続支援B型	17名	就労の機会や生産活動等の機会を提供することによって、その知識や能力の向上を図る訓練を行っています。
地域支援	短期入所	57名	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行っています。
	相談支援	—	障害のある人、その保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報提供や権利援護のために必要な援助を行っています。
	地域生活支援事業 (日中一時支援)	39名	日常介護している家族の一時的な負担軽減と利用者の日中活動の場を提供しています。 (高崎市・前橋市・富岡市・伊勢崎市・藤岡市・甘楽町・玉村町、南牧村から受託)

○ 児童福祉法に基づくサービス

令和6年3月1日現在

療育支援	児童発達支援	90名 (登録者)	未就学児(2~6歳)を対象に、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行っています。
	放課後等デイサービス	37名 (登録者)	小学生~高校生を対象に、学校授業終了後において、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進などを行っています。
	保育所等訪問支援	208名 (登録者)	保育所、幼稚園、学校や施設などを訪問し集団生活に適應できるように専門的な支援を行っています。

2. のぞみの園における業務の取組状況

(1) 著しい行動障害を有する者等及び医療的ケアが必要になった者への支援について

● 著しい行動障害等を有する者の受入れ及び地域移行の状況

令和6年3月1日現在

項目/中期・年度	第2期	第3期	第4期	第5期						令和5年度の取組状況
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計	
受入れ者数	4	14	53	13	—	—	—	—	13	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の質を向上させるため、スーパーバイザーの招聘や職員の実務研修等を実施 ・地域で先進的に活動する団体や国立施設と事業連携 ・障害の程度や特性に応じた環境調整を実施
移行者等数	1	6	40	12	—	—	—	—	12	

● 矯正施設を退所した知的障害者の受入れ及び地域移行の状況

項目/中期・年度	第2期	第3期	第4期	第5期						令和5年度の取組状況
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計	
受入れ者数	16	19	22	3	—	—	—	—	3	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な課題を抱える者への支援として、専門家による集中的なコンサルテーション等を実施 ・国立施設と連携し、事例を挙げ検討会を実施
移行者等数	13	17	24	1	—	—	—	—	1	

● 医療的ケアが必要になった者の受入れ及び地域移行の状況

項目/中期・年度	第2期	第3期	第4期	第5期						令和5年度の取組状況
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計	
受入れ者数	—	—	—	0	—	—	—	—	0	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア利用者の受入体制等の整備 ・医療的ケア利用者の受入れ規則(ルール)の設定 ・群馬県内の相談支援事業所、施設、団体等へ広報活動を実施
移行者等数	—	—	—	0	—	—	—	—	0	

(2) ターミナルケアについて

重度・高齢化が顕著となっているのぞみの園において、住み慣れた場所・環境で最期を迎える「ターミナルケア」を実践するとともに、そのノウハウについて全国の障害者支援施設への情報発信に取り組むこと (第5期中期目標(抜粋))

- 今年度の取組状況
 - ・ターミナルケア(終末期支援)システムの検討
 - ・ACP(人生会議: Advance Care Planning)システムの構築(ACPに基づくヒアリングシートの導入)
 - ・ACP委員会設置要綱の作成(気づき期・看取り期)
 - ・ターミナルケアに関するメンタルヘルス対策の仕組みづくり
 - ・サポートブックの導入
 - ・外部医療機関の検討(GH)
 - ・ターミナルケアの実践1例(あかしあ寮)
 - ・継続的な研修

- 今後の予定
 - ・園内研修の実施
 - ・ACPの一般寮への展開
 - ・家族への継続的なアプローチ(高齢期支援の先を見据えた話し合い)
 - ・のぞみの園(園内)版マニュアルの更新

時期	目標・実施内容
令和4年度	「ターミナルケアの仕組み」づくり、のぞみの園版「ターミナルケアマニュアル」作成
令和5年度 4～9月	「ターミナルケアシステムの検討」 ヒアリングシート等/書式の検討 ACP実施フロー等/システムの検討
令和5年度 10～3月	「ACP委員会の施行/評価と修正」 ACP委員会を試行し、その評価をし結果をまとめる。 「ターミナルケアマニュアル研修」 研修「高齢期の支援」「意思決定支援」等の実施 「のぞみの園(園内)版 ターミナルケアマニュアル」 上記の結果を反映し、マニュアル改正検討
令和6年度	「のぞみの園ターミナルケアシステム/ACP委員会の実施」 「全国版 ターミナルケアマニュアル」 厚労科研「終末期」作業班との連携 「のぞみの園(地域)版 ターミナルケアマニュアル」 R6年度以降での取組み

(3) 令和5年度 調査・研究の実績

令和5年度 調査・研究テーマ

国からの委託・助成 民間団体からの助成

<国立のぞみの園が主体となって取り組んでいる研究>

①【厚生労働科学研究 / 厚生労働省】

強度行動障害者支援のための指導的人材養成プログラムの開発および地域支援体制の構築のための研究

②【厚生労働科学研究 / 厚生労働省】

障害者支援施設や共同生活援助事業所、居宅支援における高齢障害者の看取り・終末期の支援を行うための研究

③【東アジア・ASEAN経済研究センター(ERIA)プロジェクト、本部インドネシア】

東南アジアにおける発達障害者に対する保健医療政策の実態把握と改善に関する研究

<外部の研究班への参加による分担研究>

④【厚生労働科学研究: 會田班分担研究 / 厚生労働省】

強度行動障害を持つ人への食事支援における現状調査-医療機関と福祉事業所の比較から-

のぞみの園において実施

⑤高齢期の発達障害者を地域でより効果的・効率的に支援するための体制づくり(その2)

-地域における発達障害児者等の支援体制を分析・点検すえうための地域評価ツールを活用して-

⑥高齢知的・発達障害者向け行動・心理症状ケアプログラムの社会実装研究(その3)

-ケアプログラム進行管理役養成研修プログラムの開発-

⑦障害福祉サービスにおけるVineland- II とICFを用いたアセスメント及びモニタリングに関する意識調査

⑧矯正施設を退所した知的障害者における小児期逆境体験に関する研究

⑨障害者支援施設における強度行動障害に対応した通過型支援の在り方

⑩群馬県内の障害者支援施設における事業継続計画(BCP)の策定の現状と課題~策定の義務化に向けて~

⑪利用者・利用者家族に国立のぞみの園が果たしてきた機能に関する歴史的研究

成果物の周知

○ ニュースレターの発行 発行回数 年4回

第79号【特集】強度行動障害者への支援(令和6年1月1日発行)

第78号【特集】矯正施設を退所した知的障害者への支援(令和5年10月1日発行)

第77号【特集】高齢知的障害者への支援(令和5年7月1日発行)

第76号【特集】発達障害児・者への支援(令和5年4月1日発行)

○ 調査・研究の成果として研究紀要の発行 年1回

・研究紀要第16号 掲載論文 11件

(内訳) 強度行動障害者への支援 4件 高齢・知的発達障害者への支援 2件 矯正施設等を退所した知的障害者への支援 1件
発達障害児・者への支援 1件 障害者支援施設における取組 3件

○ 学会や研修会、講演会等の場で、調査・研究の成果を発表(令和6年3月1日現在)

・学会報告 7回(認知症ケア学会、介護福祉学会、日本司法福祉学会、日本社会福祉学会、日本発達障害学会3回)

・講演等 53回

・執筆・投稿等 5回

○ 調査・研究の成果物をマニュアル等現場で活用できる冊子とし有償刊行物として頒布(現在:8冊を頒布中)



○ ホームページ、機関リポジトリ、SNS等による情報発信

・ 国立のぞみの園ホームページ

国立のぞみの園がこれまでに実施した調査・研究の報告、実践等をまとめたニュースレター、国際的な調査研究の取組みなどを掲載しています。



・ 機関リポジトリ(国立のぞみの園機関リポジトリ)

国立のぞみの園の実践・研究成果についてキーワードによる論文検索等が可能です。



・ 国立のぞみの園 研究部のページ

(Facebook)

研修会の開催、新たな記事の掲載などをお知らせします。



(4) 令和5年度 セミナー・研修会等の実績

令和6年3月1日現在

令和5年度 各種セミナー等の開催状況

1. 強度行動障害支援者養成研修会の開催		日時	開催方法	参加者	備考
1	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修(指導者研修))	令和5年5月29日(月)~30日(火) 令和5年6月12日(月)~13日(火)	WEB開催	159人	都道府県からの推薦3人
2	強度行動障害支援者養成研修(実践研修(指導者研修))	令和5年6月 1日(木)~ 2日(金) 令和5年6月15日(木)~16日(金)	WEB開催	144人	都道府県からの推薦3人
3	強度行動障害支援における中核的人材養成研修	第1回 令和5年11月 7日(火) 第2回 令和5年12月 4日(月) 第3回 令和5年12月25日(月) 第4回 令和6年1月11日(木) 第5回 令和6年2月 6日(火)	WEB開催	40名	
		第6回 令和6年3月15日(金)	集合型		
4	自閉症支援のためのワークショップ	令和6年2月28日(水)~3月3日(日)	集合型	15名	
2. 犯罪非行行為者支援研修会の開催		日時	開催方法	参加者	備考
1	知的障害のある犯罪行為者への支援を学ぶ研修会(基礎研修会)	令和6年2月1日(木)~3月11日(月)	WEB開催	定員なし	
2	非行・犯罪行為に至った知的障害者を支援し続ける人のための双方向参加型研修会(実践者研修会)	令和6年3月開催予定	WEB開催	定員なし	
3. 国立のぞみの園セミナー・研修会の開催		日時	開催方法	参加者	備考
1	『国立のぞみの園セミナー』知的・発達障害者のすこやかシリーズ 「知的障害者の健康を支える運動」	令和6年3月1日(金)~3月18日(月)	WEB開催	定員なし	
2	『国立のぞみの園セミナー』高齢知的障害者支援のための実践報告会 「認知症又は認知症の疑いのある知的障害者への支援と課題」	令和5年11月22日(水)~12月22日(金)	WEB開催	739人	
3	『国立のぞみの園セミナー』知的発達障害者に関わる看護師向け 「知的・発達障害者の看護~感染症対策編~について考える」	令和5年10月20日(金)	集合型	23人	
4	障害者の福祉的就労・日中活動サービス ~個別支援の充実と社会参加を目指して2023~	令和5年10月4日(水)	WEB開催	264人	

令和5年度 支援者養成現任研修受入

コース名	期間	対象者	人数
1 高齢知的障害者支援コース	各コース原則5日間 (随時受入)	対象は福祉サービス事業所等の 若手支援員等	3人
2 矯正施設等を退所した障害者支援コース			5人
3 行動障害者支援コース			33人
4 発達障害児支援コース			5人
合計			46人

令和5年度 実習生受入

	校数	人数
相談援助	6校	11人
保育	27校	80人
その他	4校	9人
合計	37校	100人

(5) 令和5年度 実務研修等の実績

① 実務研修（派遣）

法人名	研修期間	職員数
社会福祉法人北摂杉の子会	6月 5日～ 6月 9日【5日間】	1名
	7月 3日～ 7月 7日【5日間】	1名
	9月 4日～ 9月 8日【5日間】	1名
	9月18日～ 9月22日【5日間】	1名
社会福祉法人はるにれの里	7月10日～ 7月14日【5日間】	5名
独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター	7月24日～ 7月28日【5日間】	3名
社会福祉法人 京都ライフサポート協会	8月28日～ 9月 1日【5日間】	2名
	9月 4日～ 9月 8日【5日間】	2名
	9月11日～ 9月15日【6日間】	2名
社会福祉法人侑愛会	10月23日～10月27日【5日間】	2名
社会福祉法人南山城学園	10月30日～11月 4日【6日間】	2名
	11月13日～11月18日【6日間】	1名
発達障害サポートセンターピュア	1月22日～ 1月24日【3日間】	2名

② 実務研修（受入）

法人名	研修期間	職員数
社会福祉法人岐阜県福祉事業団	令和5年4月1日～令和6年3月31日	2名
社会福祉法人りんごの里	令和5年4月1日～令和5年9月30日	1名
社会福祉法人西駒郷	令和5年7月1日～令和5年9月30日	1名

③ 人事交流

法人名	研修期間	職員数
社会福祉法人旭川荘	令和5年4月1日～令和6年3月31日	1名

(6) 令和5年度 援助・助言の実績

障害者支援施設等の求めに応じて、行動障害等を有する者の支援、重度化・高齢化した知的障害者の支援技術、長期入所者の円滑な地域生活への移行、障害者総合支援法に基づく新しい事業体系への移行、知的障害者の健康管理等に関して援助・助言を行っている。

令和5年度「援助・助言」の実施状況

令和6年3月1日現在

内 容 別	援助・助言		講演・講師派遣等		
	件数	援助・助言等の内容	開催数	参加者数	備 考
総合支援法(法制度)に関する事	6	職員配置について等	2	160	施設のこれからについて等
地域移行・地域支援に関する事	15	地域交流やサポート体制等	7	40,520	地域でのより良い暮らしについて等
高齢知的障害者支援に関する事	33	支援方法等	37	4,186	高齢期支援について等
行動障害等を有する者の支援に関する事	61	支援方法等	63	1,695	支援の組立てについて等
矯正施設を退所した知的障害者支援に関する事	2	支援方法等	3	46	支援方法等
発達障害児・者の支援に関する事	8	絵カードシステムについて等	15	913	困難事例検討会議等
障害者の医療支援に関する事	16	服薬管理について等	16	21,218	医療と福祉の連携について等
就労支援に関する事	0	支援方法等	0	0	
児童発達支援に関する事	2	支援方法等	6	231	アセスメント方法について等
権利擁護(虐待防止含む)に関する事	10	身体拘束解除への取組み等	9	886	アンガーマネジメントについて等
意思決定支援に関する事	6	保護者へのアプローチについて等	3	179	意思決定支援について等
介護保険に関する事	0		0	0	
事業運営に関する事	7	記録システム導入について等	0	0	
のぞみの園利用に関する事	81	有期限入所について等	0	0	
調査・研究に関する事	6	資料の活用方法について等	0	0	
養成・研修に関する事	3	研修受講について等	0	0	
職員派遣(講師・コンサル等)に関する事	43	講師派遣について等	0	0	
その他	4	臨床研究倫理委員会等	9	325	自立支援協議会等
計	303		170	70,359	

援助・助言の実績 473件

(7) 診療所の見直しについて

～支援の質を高めながら経営の効率化に取り組み安定した施設運営を図る～

高齢化、重度化する
利用者の健康管理を充実

「生活の場」を支える
看護（医療）の提供

経営の効率化及び改善

支援と看護の連携モデルを実践

◇診療所改革プロジェクトチームを編成

検 討

- ・ 病棟の廃止→生活寮として運用
- ・ 看護師の生活寮への配置転換
- ・ 外来診療機能の維持（診療科、診療体制の見直し）
- ・ 高額医療機器の維持管理

検討結果①：新年度からの対応

- ・ 病棟の廃止→あかしあ寮と一体的な運営。看護師8名を支援員として変則勤務で配置。
- ・ 医師当直の廃止。夜間休日の急病等は常勤医師等によるオンコール体制。
- ・ 管理当直体制の再開。
- ・ 生活支援部へ看護師3名を平常勤務で配置。
- ・ 特別支援課（強行寮）へ看護師2名を支援員として変則勤務で配置。
- ・ 外来診療部門へ看護師3名を平常勤務で配置。

検討結果②：経営改善として継続して検討

- ・ 診療科、診療体制の見直し。
- ・ 高額医療機器の維持管理（CT装置保守）。

(8) 第10次寮再編計画について

○ 今年度の取組状況

第9次寮再編(令和5年4月1日実施)以降、地域移行や死亡等に伴う利用者の減少や、診療所改革に伴い、生活寮における健康管理の充実と医療的ケアの支援体制の拡充として、第10次寮再編計画を策定

生活支援課1か寮(なでしこ寮)を閉寮し、6か寮体制

単独寮:あかしあ寮、こすもす寮

統合寮:①やまぶき寮・ひなげし寮②くろまつ寮・ひのき寮

○ 今後の予定

3月18日(月)より順次、転寮予定者についての引継ぎ、引越し等を進めていく。

(9) 能登半島地震における被災者の受け入れについて

● 受入理由

令和6年1月1日に石川県能登半島で発生した地震において、被災した障害者支援施設の利用者を厚生労働省の要請により、有期限の施設入所利用者として受け入れる。

● 受入利用者の概要等

施設名等	社会福祉法人徳充会 石川県精育園（障害者支援施設） 石川県鳳珠郡穴水町七海6字50番地
被災の状況	今回の地震により、施設は損壊・地盤沈下などにより、活動場所や浴室、トイレが使用できない。また、被災日から断水が続いており復旧の見通しが立っていない状況。このため、仮設の風呂やトイレを設置し、食事は委託業者から副食のみ提供され主食は非常食（アルファ米）を提供している。
受入利用者等	受入人数：10名（男性） 年 齢：39～59歳 障害支援区分：区分5 4名、区分6 6名 ※全ての利用者に重度加算あり 援護の実施者：珠洲市4名、七尾市3名、能登町2名、輪島市1名

● 受入利用者の概要等

受入日：令和6年3月12日	サービス種別：
受入寮：つぐみ寮 2名 かわせみ寮第1 4名	施設入所支援、生活介護
かわせみ寮第2 3名 はばたき・ひなた寮 1名	※なお、利用者の障害特性等に応じてサービスを検討
※なお、利用者の障害特性等に応じて転寮を検討	

3. 令和6年度予算(案)について

- 令和6年度の予算(案)は、前年度と比較して23百万円の減額となっている。
- 減額の主な要因は、入所利用者数の減等（介護給付費・訓練給付費等）によるものである。

(単位:百万円)

項 目		令和5年度	令和6年度	増 減
		当初予算①	予算(案)②	(②-①)
収 入 の 部	運営費交付金	1,231	1,231	0
	うち、退職手当を除く	1,167	1,163	▲4
	うち、退職手当	64	68	4
	事業収入			
	介護給付費・訓練等給付費等	1,386	1,364	▲22
	診療収入	116	116	0
	実習生等受入負担金等	41	40	▲1
	施設整備費補助金	0	0	0
	収 入 計	2,774	2,751	▲23
支 出 の 部	役員及び管理部門に係る人件費	171	175	4
	一般管理費	52	52	0
	業務経費	2,551	2,524	▲27
	施設整備費補助金	0	0	0
	支 出 計	2,774	2,751	▲23
	収 支 差	0	0	0

4. 新型コロナウイルス感染症への対応（令和5年度下半期）

令和6年3月1日現在

【令和5年5月8日以降の5類移行後の法人の対応】

- 基本的な考え方として5類前までの対策を維持する（入園時のマスク着用、手指消毒等）。
- 利用者と保護者との面会については、面会場所を限定し、予約制としたうえで3日前からの健康観察等を依頼する。
- 利用者については、外出時にマスクを着用できないことから、移行前と同様、ドライブスルーや感染リスクの少ない公園等での活動を継続する。
- 入院患者の面会については、移行前必須としていたワクチン接種証明、PCR陰性結果の持参について不要とする緩和を図った。
- 職員が感染した場合の最低出勤停止期間は、国の推奨期間（5日間）より長い7日間とする。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止にむけた取組み】

- 職員の感染に対する危機意識を高めるため、3週間毎を目途に注意喚起を促すための新しいポスターを更新し、掲示。
- 全役職員を対象としたPPE（個人防護具の略）研修会を開催し、ガウン、マスク、手袋等の正しい使用方法を看護師の指導により実施。

【令和5年度下半期の対応状況等】

- ・ 感染症対策委員会：1回 ・ 4月～現在までの累計 4回
- ・ 感染者数：入所利用者（施設入所、GH）27名、職員42名、計69名
4月から現在までの累計 入所利用者35名、職員78名、計113名

月	陽性者数	感染症対策委員会	主な対応
令和5年 10月	支援職員 1名 医療職員 2名 事務職員 1名		
11月	支援職員 1名		
12月	支援職員 1名 事務職員 2名		
令和6年 1月	利用者 21名 支援職員 9名 医療職員 3名 事務職員 12名	1/24 感染症対策委員会	寮閉鎖、ゾーニングの実施、利用者及び職員の健康状態の管理・徹底
2月	利用者 6名 支援職員 7名 医療職員 1名 事務職員 2名		
3月			

5. 事故等の報告について

令和6年3月1日現在

1. 事故内容等

事故内容	骨折	打撲・創傷	誤与薬	所在不明	誤嚥	その他	計
件数	4	15	9	1	3	7	39
<p>【事故の種類】</p> <p>骨折(4)：原因不明(2)、転倒(2)</p> <p>打撲・創傷(15)：転倒(3)、創傷(4)、転落(2)、原因不明(5)、打撲(1)</p> <p>誤与薬(9)：誤薬・誤配(6)、誤与薬(3)</p> <p>所在不明(1)：無断外出(1)</p> <p>誤嚥(3)：むせこみ(1)、喉詰り(2)</p> <p>その他(7)：異食・誤飲(3)、右足(第5趾)爪剥離(1)、賞味期限切れ副食提供(1)、車両事故(1)、その他(1)</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故案件については、事故後速やかに保護者及び高崎市、援護者に報告している。 ・ 事故防止対策委員会(毎月)において、事故の検証及び再発防止策を検討。 ・ 毎年、事故防止対策強化月間(11/1～11/30)により事故防止対策を徹底している。 							

2. 虐待事案

令和6年3月1日現在

報告日	内容
—	報告無し。
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 虐待防止対策委員会(毎月)において、身体拘束の実施状況の確認や不適切と思われる事例等についての検証、職員研修会の検討など。 ・ 虐待防止対策について、外部有識者による寮等の巡回や指導・助言。 	